

# 営農情報 (大豆)

令和元年8月20日

(大豆営農情報 8月号)

J A福岡大城・南筑後普及指導センター

## 1 大豆の生育概況

播種は、梅雨の影響もあり、7月10日頃からはじまり、7月25～28日頃を中心に行われ、7月31日頃までには概ね終了しました。梅雨末期の大雨により、一部ほ場で播き直しが見られました。また、播種期間が長期にわたったため、生育にばらつきが生じています。降雨のため、播種後の土壌処理剤が散布できなかったほ場も散見されます。8月20日現在、7月25日播きで本葉4～5葉期程度となっています。中耕・培土を確実に実施してください。

## 2 病害虫防除

フェロモントラップのデータではハスモンヨトウの発生が8月20日現在で、増加傾向にあります。今後の気象状況によっては多発する恐れがあります。下記の時期を目安的に確かな防除を実施して下さい。

[1回目防除] 8月27日～31日頃

※播種、出芽が早いほ場ではハスモンヨトウの発生、食害が早まりますので、上記の時期より散布適期が早まります。早めに防除を行ってください。

※今後、高温が続くとハスモンヨトウの成長も早まりますので、食害による白変葉の発生や幼虫体長(2cm位までが適期)を確認して早めに防除を行ってください。

| 対象病害虫   | 薬剤名      | 希釈倍率       | 使用回数 | 100Lあたり<br>薬剤量 |
|---------|----------|------------|------|----------------|
| ハスモンヨトウ | プレオフロアブル | 1000～2000倍 | 2回以内 | 50ml～100ml     |

※【散布量】 10a当たり 100～300L  
(散布量は大豆の生育状況に応じて調節してください。)

[2回目防除] 9月20日頃 (ハスモンヨトウ、カメムシ、紫斑病対策)

| 対象病害虫   | 薬剤名        | 希釈倍率           | 使用回数 | 100Lあたり<br>薬剤量 |
|---------|------------|----------------|------|----------------|
| ハスモンヨトウ | プレバソフロアブル5 | 4000倍          | 2回以内 | 25ml           |
| カメムシ類   | キラップフロアブル  | 2000倍          | 2回以内 | 50ml           |
| 紫斑病     | トップジンM水和剤  | 1000～<br>1500倍 | 4回以内 | 70～<br>100ml   |

※【散布量】 10a当たり 100～300L

**農薬の安全使用と飛散防止対策を徹底しましょう!**